



かたくり

学校教育目標 夢ふくらませ 心かがやく



令和3年度
第27号
2021.10.1

じっくりと考え、今後に生かそうとする姿が見られました。(授業研究会：4年学級活動)

【「通信上で友達と上手にやり取りをするには？」】

28日に行われた校内研究会では、4年生が学級活動の授業を行いました。題材は「通信上で友達と上手にやり取りをするには？」。ネットゲームでトラブルになった事例から、ネットを利用する上でのマナーについて、あるいは、人間関係を崩さないためにどうすべきかについて考えました。ネットでは「声や表情が見えない」ことの難しさを感じながら、自分だったらどうしていきたいかを真剣に考える子どもたちの姿が見られ感心しました。グループでの話し合いでは、友達の意見をしっかり聞く様子が見られ、学級内での人間関係のよさも感じられた時間となりました。



ネットゲームやSNS等、子どもたちを取り巻く環境は、どんどん変化していきます。様々なトラブルを回避するための知識や工夫等については、各学年でも取り上げていきたいと考えています。

子どもたちの経験を深める外部講師を招いての学習や体験活動⑤

【5年：JFAこころのプロジェクト『夢教室』】

日本サッカー協会「JFAこころのプロジェクト『夢教室』」は、全国の小5・中2の児童生徒を対象に、様々な競技の現役選手/OB/OGなどを「夢先生」として学校へ派遣し、「夢を持つことや、その夢に向かって努力することの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」などを伝えていくものです。

今回は、元日本代表で、横浜マリノスやFC東京で活躍された石川さんが夢先生を務めてくれました。本来であれば、西明寺小学校に来校していただき、子どもたちとの交流の時間をもつはずでしたが、コロナ禍ということでオンラインでの開催となりました。石川先生の選手時代は、必ずしも順風満帆ではなく、選手としてピッチに立てなかった時期もあったとのことでした。そんな時でも『自分を信じること』、自分が必要と感じたことは『継続すること』が大切であると教えていただきました。うまくいかない時でも、自分を信じて仲間を信じて、すべての『マイナス』を『吐』き出せば、きっと夢は『叶う』というお話は、子どもたちを勇気付けてくれました。夢教室後、自分を成長させようとくりっこチャレンジに取り組む子どもたちも多く見られ、早くも夢教室の効果が出てきたようです。5年生の活躍がとても楽しみです。



【ICT端末の家庭での接続テストありがとうございました。】

先週末、全校一斉でのICT端末（タブレットPC）接続テストに際しましては、大変ご難儀をおかけしました。この接続テストを通して、教育委員会では、オンラインでの学習指導を可能にするための環境整備を進めていくこととなります。西明寺小学校でも、今後、コロナウィルス感染防止のための臨時休校等があった場合、ICT端末（タブレットPC）を利用して健康観察や学習支援等を行うことができるようにしたいと考えています。

そのためには、子どもたちがタブレットPCの操作に慣れ、使うことができるようにしていく必要があります。各学年では、授業の際にタブレットPCを利用する場面を少しずつ増やしているところです。現在のところ、大人が思っている以上に子どもたちはタブレットPCを上手に使うことができるようですので、授業での活用場面をさらに増やしていけるよう進めていきたいと思っております。



アンケート結果を閲覧